

麻疹(はしか)について

令和5年5月

最近日本でも流行が確認された
とてもコワ~い感染症

福島県 県南保健福祉事務所

Ken-nan Public Health and Welfare Office of Fukushima Prefecture

麻疹(はしか)とは？

麻疹ウイルス



とても**感染力が強く**、
少しの接触でも
ほぼ100%感染する

感染様式は。
接触、飛沫、**空気感染**

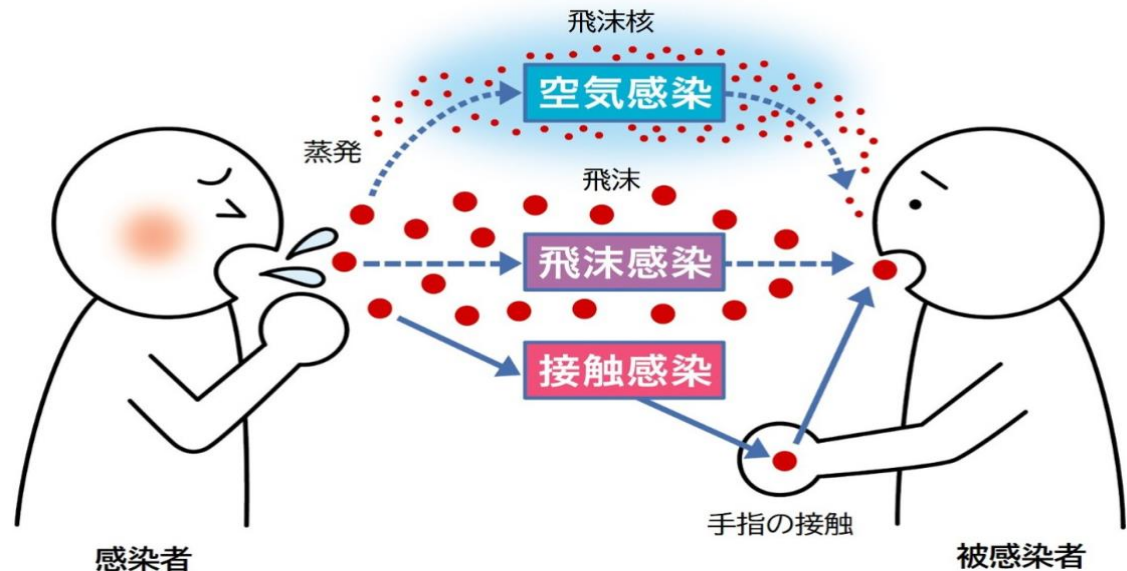
すれちがったくらいでも
感染する

の感染で生じる全身感染症

麻疹(はしか) はどんな病気？

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻疹ウイルスの感染経路は、**空気感染**、**飛沫感染**、**接触感染**で、**ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強い**と言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。



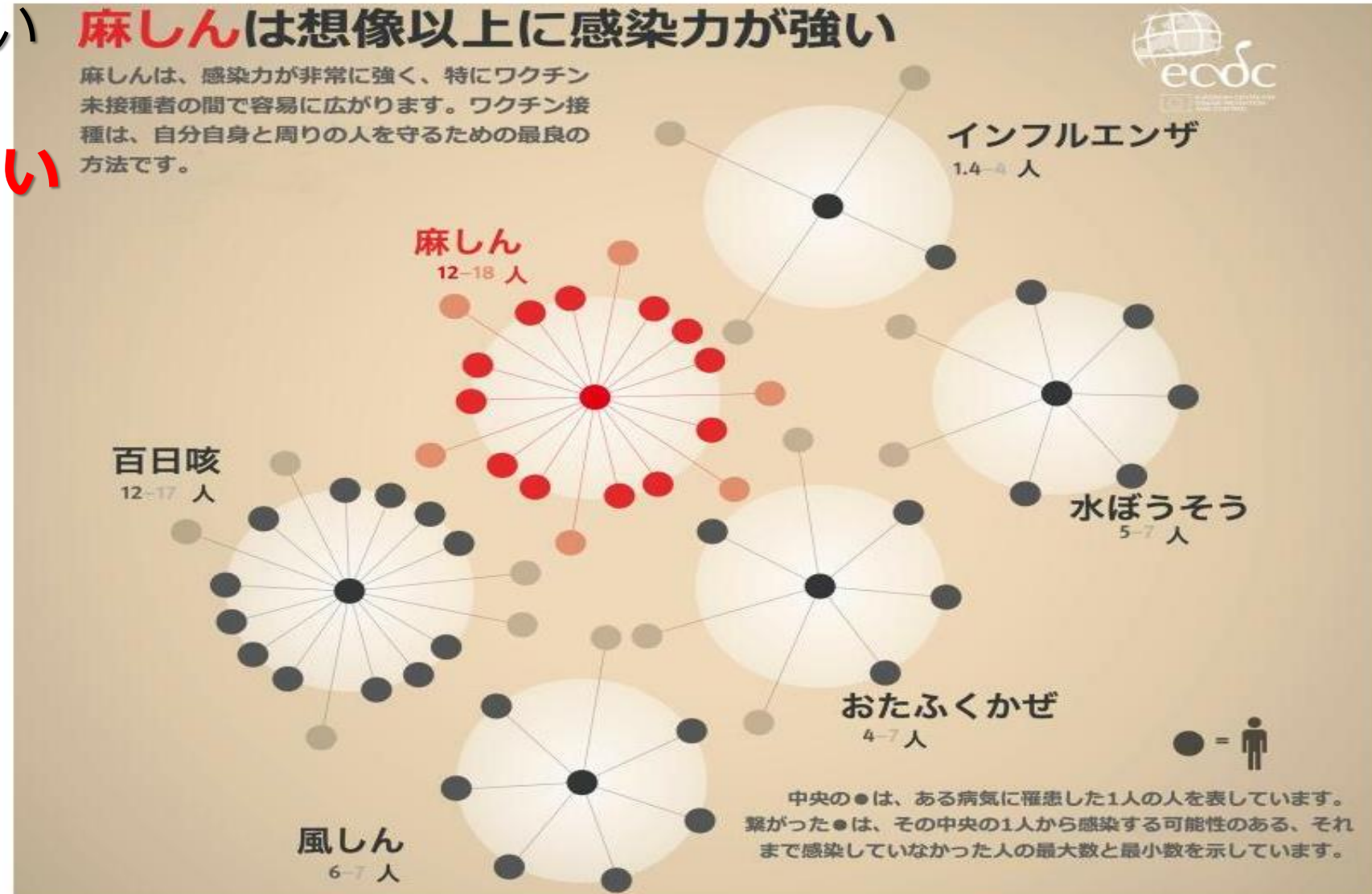
麻疹は、すぐに感染してしまう！

麻疹は極めて感染力の強い感染症

麻疹は、感染力が強い
インフルエンザ
の約10倍くらい
伝染性感染症の中では
一番強い感染力

風疹
おたふく
水ぼうそう
新型コロナ

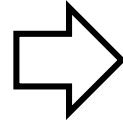
よりも強い！



麻疹と他の感染症との感染力の比較 (ECDC infographicより筆者訳)

麻疹の症状と経過

風邪様症状と
特徴的な全身皮疹、コプリック斑



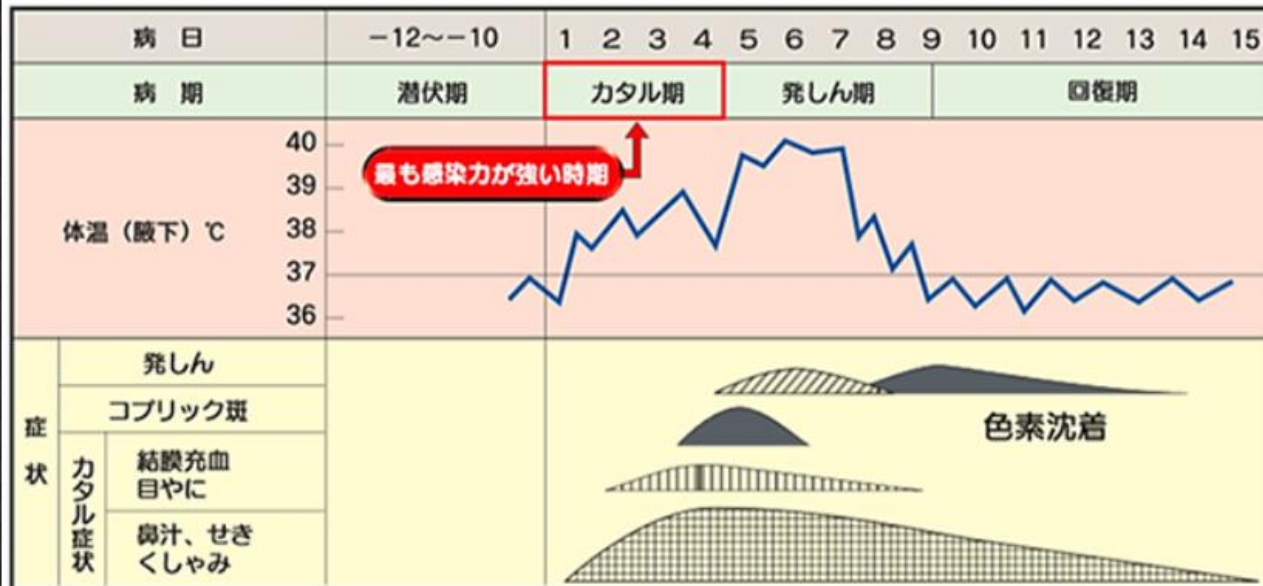
主訴

発熱 (38°C以上)
強い全身倦怠感、鼻炎、咽頭炎症状
眼球結膜充血
皮疹

身体
症状

全身症状は強い
発熱 (38°C以上) が2峰性に出現
かぜ症状：鼻水、せき、結膜炎、強い全身倦怠感
コプリック斑
赤色斑状皮疹 (顔→体幹→四肢の順に拡大)

麻疹 (はしか) の症状



藤井良知、西村忠史、中村健：小児感染症学、第1版、南山堂、東京、1985、pp.14より改変

免疫機能低下状態が数週間にわたって続く

麻疹であることに気づかずに行動



感染を広げる

潜伏期間

10~12日間くらい

カタル期が最も感染力が強い

コワ〜い

麻疹の合併症

中耳炎、胃腸炎は多いが、頻度は少なくても重篤な、命に係わるものは

肺炎：6%くらい、小児の死因第1位

脳炎：1000人に1例程度だが、15%位死亡、25%位に後遺症

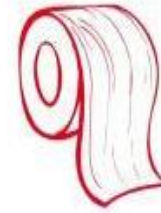
亜急性硬化全脳炎(SSPE)

最も重篤で、幼児期の感染後、4~8年過ぎて発症し、死に至る
2000人に1人くらい

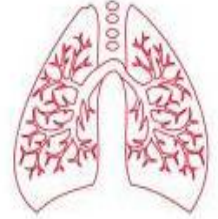
麻しんによる合併症



小児の麻しん患者100人のうち7~9人は**中耳炎**など耳の感染症を起こし、難聴の原因になることもあります



麻しん患者100人のうち8人は**下痢**をします



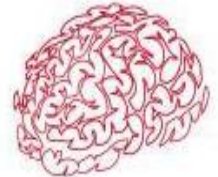
麻しん患者100人のうち6人は**肺炎**を起こします。肺炎は小児の麻しん患者での死亡原因で最多のものです



麻しん患者1000人のうち1人は**脳炎**を起こします。脳炎によって痙攣を起こしたり、難聴や知的障害の原因になります。



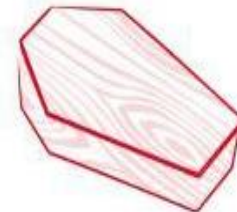
角膜（眼球の一番外側の組織）の破壊などによる**眼の障害**によって、失明を起こすことがあります。これは特に栄養失調やビタミンA欠乏の小児で見られやすいとされています。



まれな合併症として命にかかわる脳の合併症が起こることがあり、**SSPE（亜急性硬化性全脳炎）**と呼ばれる脳炎が感染から数年後に起こることがあります。



麻しん患者のうち4人に1人は**入院**を要します



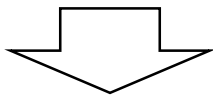
麻しん患者のうち最大で1000人に1人が麻しんによって**死亡**します

日本での麻疹発生状況

日本では、
2015年以降では、
「麻疹排除状態」ではあるが、
外来感染で、一時的に発生している

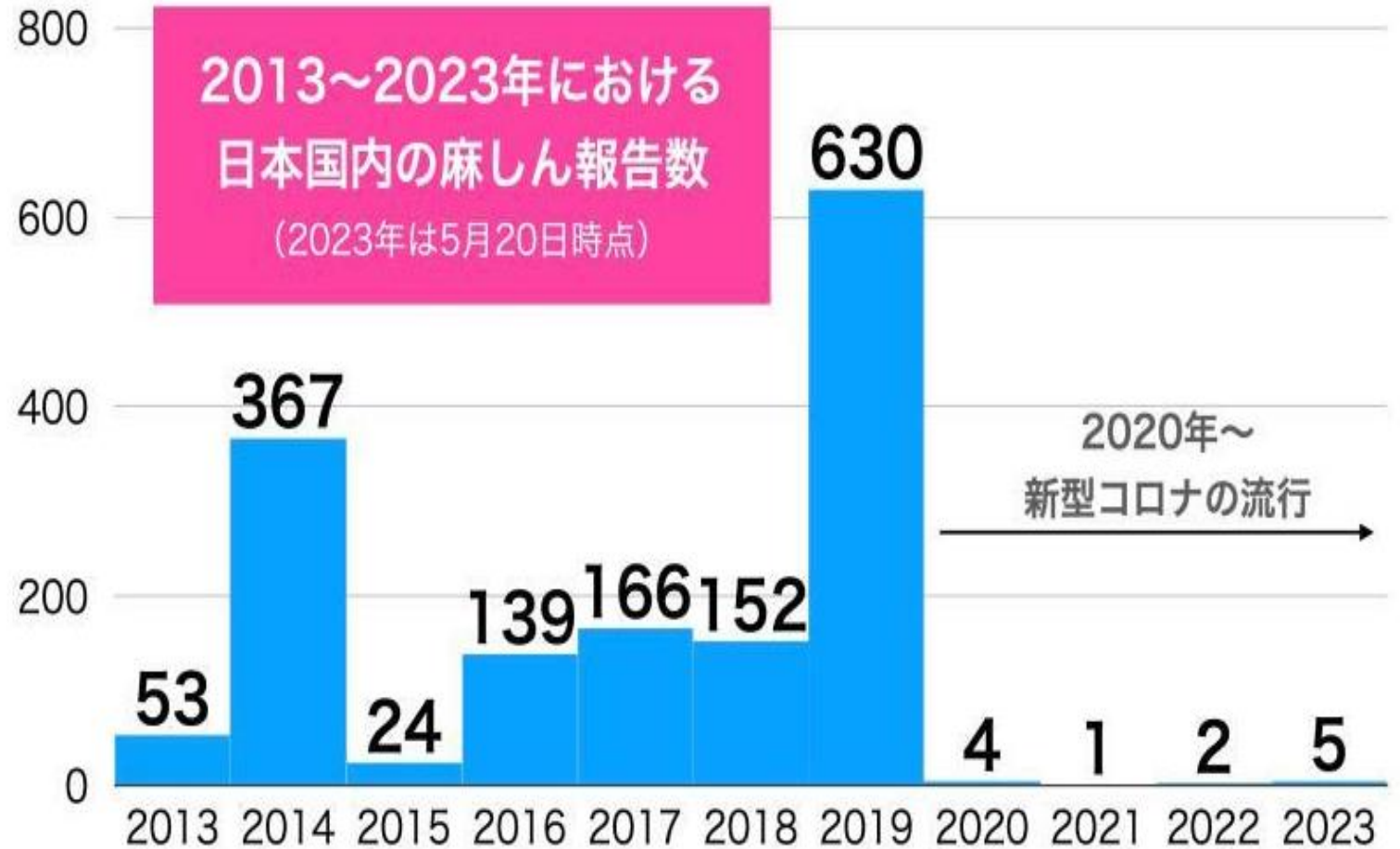
2019年も、外来感染で感染拡大
その後は、減少していたが、

**今後は、
外来感染が増加する可能性大**



今回の発端感染者も
インドからの帰国者

日本国内での麻疹の発生状況



2013~2023年における日本国内の麻疹報告数（国立感染症研究所のデータに基づいて筆者作成. 2023年は5月20日時点のもの）

治療と予防

麻疹に、
抗ウイルス薬 のような**特異的な治療法はない**
対症療法だけ

唯一の効果ある治療は、
ワクチン接種による抗体獲得 のみ

乳児期(1歳頃)
幼児期(6歳頃) の **2回接種を推奨**

ワクチン接種「2回」推奨

1回目 **1歳**

2回目 **小学校入学前**

国・自治体 “できる限り” 推奨
「定期接種」に分類 費用かからず

2021年度 都道府県別の麻疹ワクチン接種率 (%)

95%以上が目標

都道府県	1期接種	2期接種	都道府県	1期接種	2期接種
北海道	92.3	90.0	三重県	93.5	94.8
青森県	93.0	95.9	滋賀県	91.5	93.9
岩手県	91.4	95.2	京都府	93.0	93.3
宮城県	94.2	94.2	大阪府	93.4	92.3
秋田県	97.2	96.0	兵庫県	92.7	93.9
山形県	93.2	95.6	奈良県	90.3	95.4
福島県	93.1	94.1	和歌山県	94.5	94.3
茨城県	94.2	94.6	鳥取県	94.1	93.7
栃木県	94.1	93.6	島根県	93.6	94.8
群馬県	93.2	95.8	岡山県	94.9	96.7
埼玉県	92.4	94.1	広島県	93.7	94.5
千葉県	92.2	94.7	山口県	93.5	94.5
東京都	93.9	93.2	徳島県	92.6	94.3
神奈川県	93.9	93.0	香川県	94.1	95.6
新潟県	97.2	95.8	愛媛県	94.0	93.2
富山県	95.3	94.9	高知県	92.7	92.3
石川県	90.3	96.4	福岡県	94.2	94.6
福井県	95.1	95.3	佐賀県	90.4	94.8
山梨県	95.0	92.3	長崎県	93.5	91.7
長野県	90.0	94.5	熊本県	94.8	93.2
岐阜県	93.7	94.5	大分県	93.0	95.0
静岡県	94.1	94.2	宮崎県	94.4	93.7
愛知県	95.0	94.6	鹿児島県	95.3	91.3
			沖縄県	91.9	88.2

麻疹ワクチンのまとめ

唯一の予防はワクチン接種です。

接種回数2回・免疫がつくまで約2週間

定期接種では1歳と小学校入学前。免疫がつくまで約2週間。
接種できるのは医療機関(病院・クリニック)。
小児科もクリニックによっては大人にも接種してくれるところも。

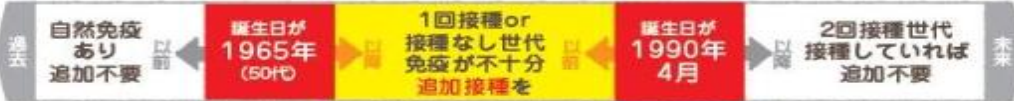
- 接種後2か月は避妊が必要です。
- ワクチンの種類は、麻疹単独ワクチンとMRワクチン(麻疹風疹混合)があります。単独ワクチンは不足しており、風疹の予防もできることから麻疹風疹混合ワクチンを接種しましょう。



定期接種以外で予防接種すべき人は？

- 麻疹の予防接種を過去未接種もしくは1回しか接種されていない50歳未満
- 海外渡航予定の方(行先は問いません)

2回接種で十分な免疫が付き(97~99%)。
50歳以上は流行した時代で多くの方には自然免疫があります。
また、アジア、アフリカだけでなくヨーロッパでも麻疹は流行しており、どこであれ海外渡航する際には麻疹が2回接種されていることを確認し、足りなければ追加してから渡航してください。



ワクチン接種できない方

- 免疫不全などの病気の方
- 1歳未満の乳児(自治体によっては流行時には公費で接種できることあり)
- 妊娠中の方(2回接種が未完了な場合、妊娠中は接種不可)

これらの方は、流行がある場合には人ごみを避けてください。



ワクチンの副反応

初回接種後に発熱が20~30%、発疹が10%出ますが、通常の麻疹と比べると症状ははるかに軽くなります。

よくある質問

Q 1歳未満の乳児は接種できませんか？

A 生後6か月未満は母親の抗体が乳児の体に残っていて、ワクチンを接種しても中和されてしまい免疫が付きませんので接種しません。
生後6か月以降1歳未満は、専門家によってさまざまな意見があり定まっていません。流行があった場合には公費負担ですめることもあります。
1歳未満で接種した場合でも、1歳を過ぎたら必ず定期接種を行います。乳児のご両親は1回接種世代の可能性が高く、ご両親自身がしっかり追加接種して乳児に感染させないことが大切です。

6ヶ月未満は接種しません



Q 1~6歳で就学前の2回目をまだ接種しておらず、1回しか接種していない幼児はどうすればいいですか？

A 基本的には1回接種が済んでいるので免疫で守られていますが、保護者をご希望であれば、この期間に任意接種(自己負担)で2回目を接種することは可能です。接種した場合も必ず就学前の定期接種は行ってください。定期接種対象者や2回接種完了していない成人と比べると優先順位は低くなります。

1歳未満で受けても1歳を過ぎたら再度定期接種!!



Q 授乳中ですが、ワクチンを接種しても子どもに影響はありませんか？

A 授乳中も接種可能です。母乳中にわずかにワクチンの成分が検出されることもありますが、それによる赤ちゃんへの影響はありません。



Q 子どもの頃に麻疹にかかったと言われましたが、1回接種世代です。追加した方がよいですか？

A 確実に麻疹にかかったのであれば、生涯にわたる免疫があるため追加接種は不要です。ただ麻疹と思込んでいた病気が発熱や発疹が出る他の病気(風疹や川崎病など)と混同されていることもあります。確実に言い切れないのであれば1回追加接種をお勧めします。もし免疫がすでにある状態で追加接種しても問題はありません。

Q 追加接種の前に抗体検査を受けた方がよいですか？

A 希望があれば医療機関で抗体検査を受けられます。保険適用外のため医療機関によって値段が異なりますので、事前に確認を。ただし既に免疫があったからと言って追加接種で困ることはありません。特に1回接種世代は子育てで忙しく、なかなか病院を複数回受診することも難しいので、検査せずに追加接種するのも一つの方法と考えています。

抗体検査を受けた方がよい



麻疹(はしか)の特徴

麻疹(はしか)

- 潜伏期間は**10日程度**
- 発熱・咳・鼻水など風邪のような症状のあと
2～3日後には**39度以上の高熱と発疹**
- 肺炎や中耳炎などの**合併症を起こしやすい**
- 患者**1000人に1人の割合で**
脳炎を発症するといわれている



麻疹は、**学校保健安全法** の取り扱いでは
解熱後3日経過するまでは出席停止 となっています

新型コロナウイルス感染症診療の自己負担について

令和5年5月8日から

新型コロナウイルス感染症の
医療費（検査費用を含む）に
自己負担額が生じます

感染症法上の位置づけが5類感染症となり、
 季節性インフルエンザ等と同様に一般診療となります



5月8日以降、
 新型コロナウイルス感染症の診療では、
 医療保険診療となり、
 医療費の自己負担が生じます。

新型コロナウイルスの医療費 政府試算による	自己負担額 (3割の場合)	内訳
現在	2590円	初診料など
5月8日以降	最大 4170円	<ul style="list-style-type: none"> 初診料 検査料 解熱剤代 特例加算 など } 追加
10月以降	最大 3万 2470円	<ul style="list-style-type: none"> 初診料 検査料 解熱剤代 特例加算 など + 治療薬のラゲブリオ処方
季節性インフルエンザの場合	最大 4450円	<ul style="list-style-type: none"> 初診料 検査料 解熱剤代 など + 治療薬のタミフル処方